

第2回インクルーシブCafe 精神科病院での虐待を防止するために アドボケーターとしてできることは何か

○夫 博美¹⁾，福嶋 美貴²⁾，福田 久仁子³⁾，佐藤 寧子⁴⁾，山内 彩香⁵⁾，片岡 三佳⁶⁾，
安保 寛明⁷⁾

1) 大和大学 保健医療学部 看護学科，2) 金城学院大学 看護学部 看護学科，3) 福山平成大学 看護学部 看護学科，
4) 慶應義塾大学 健康マネジメント研究科，5) 大阪医科薬科大学 看護学部 看護学科，
6) 三重大学大学院 医学系研究科 看護学専攻，7) 山形県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科

【背景】2022年度に日本精神保健看護学会は精神科病院における虐待事件を受けて「権利擁護・虐待防止プロジェクト」を立ち上げました。私たちはそのメンバーとして、第33回学術集会において「第1回インクルーシブCafe 虐待が起きづらくなるにはどのようにすれば良いのか、共に学びましょう」を開催しました。

インクルーシブCafeとは様々な立場の人が同じ目の高さで語り合う場です。その場において参加者は日頃、言葉に出せない思いが語られました。私たちはこの語りの内容を整理し、検討しました。その結果、そこには心理的安全性が確保された「語り合う場」としての意義や参加者の希望につながる可能性を感じました。

神出病院以前にもわが国では宇都宮病院事件、大和川病院事件など看護師による患者虐待事件があり、事件が起きるたびに法律が改正されました。しかし、今もなお、滝山病院事件などの精神科病院における患者虐待のニュースは後をたちません。このような状況について精神科看護に関わる者としてやるせない思いです。

看護師は患者の立場で気持ちや状況を理解し、必要に応じて代弁する役割があります。私たちは、このように主体的に患者の権利を擁護できるアドボケーターとしての看護の機能に注目しています。今年度も引き続き「語り合う場」としてのインクルーシブCafeを企画し、権利擁護と虐待防止という難題と真摯に向き合っていきます。

【目的】精神科病院における虐待防止および権利擁護に関して参加者それぞれの立場でアドボケーターとし

て何ができるのかを考えましょう。

【方法・内容】本ワークショップは、ワールドカフェ形式で行います。参加者がセンシティブな内容であっても安心して話せるように安全な場の確保に努めます。方法として、参加者を主役とし、発言が尊重される配慮をします。私たちもホストとして各テーブルに同席します。

はじめに話題提供をします。テーマは「2023年第1回インクルーシブCafeの報告—私たちが学んだこと—」です。少し紹介しますと「精神科医療現場の看護師が虐待・権利擁護に関して声を上げづらい状況」、「スタッフの対等性が保たれにくい風土の存在」、「患者の権利を擁護するためにも看護師が話を聞いてもらう・ケアをされる体験が必要」などです。

その次は語り合いの時間です。思いを自由に語る時間・場として頂ければ嬉しいです。そして、他の参加者の語りからも気づきや学びがあればと願っています。私たちも共に学ばせて頂きたいと思っています。看護師だけではなく、当事者、学生、等の幅広い層の方の参加を願っています。インクルーシブCafeで立場が異なっても同じ目の高さで交流できる時間を共に過ごしましょう。皆さまの参加をお待ちしています。

【倫理的配慮】会話での個人的な情報については、本ワークショップ内だけの共有にさせていただきます。ワークショップ内では匿名性を保てるよう工夫をします。報告書の作成のためにディスカッションの内容の記録およびアンケートを行います。これに際しては、個人情報およびプライバシーの保護に配慮します。